

ふるさと応援便

播摩漁業

×

湧別町企画財政課所属地域おこし協力隊

生産者の想い、 全国に届けっ！

北海道オホーツク海沿岸に位置する湧別町。雄大な土地だけでなくサロマ湖とオホーツク海に面しており、漁業・農業・林業など一次産業がとても盛んな町です。そんな小さな町から全国の皆さまへ“生産者の想い”をお届けします。



最高に美味しい牡蠣を届ける ために

曾祖父の時代から100年以上サロマ湖で漁をしている播摩漁業さん。4代目となる播摩大輔さんは、1年札幌の学校に行き、地元湧別に戻ってきて両親の後を継いでいます。作業場にお邪魔するとご家族仲睦まじい様子で牡蠣剥き作業を行っていました。取材陣にも明るく笑顔で対応してくれた大輔さんですが、牡蠣の育て方やこだわりを伺うと真剣な表情に。「身入りをよくするために6~7月から手をかけて間引きしています。結構面倒くさい作業なんですけど（笑）、徹底して行っていますね。そして8月になったら牡蠣を垂下しているカゴの場所を潮通しのいいところに移動させます。」強い思い・こだわりをもって牡蠣を育てていることがまっすぐに伝わってきました。

また、牡蠣は皆さまの口に入るものなので、梱包作業が一番気を遣う大変な作業だそうです。お客様が食べているところまで考えているからこそ、気を遣う。1箱ずつ丁寧に梱包を行う姿が印象的でした。

取材をさせていただいたのは一番冷え込む2月。この時期はサロマ湖も一面氷が張ります。そのため、湖上をスノーモービルで走り、チェーンソーで氷を割って氷下の牡蠣を収穫しています。朝早くに湖上を走ると痛いほど寒いとおっしゃっていました。

氷下の牡蠣収穫の様子は裏面記載のQRコードよりご覧いただけます。北海道の端っこの、こんなところから獲れた牡蠣なんだ！と驚くはずですよ。

